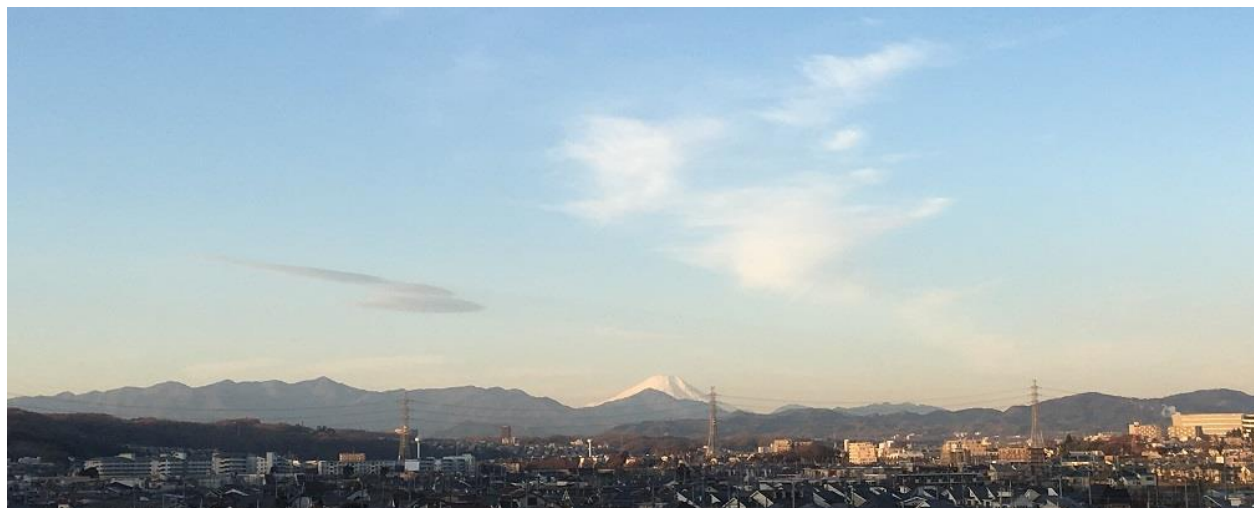


# 縄文時代を知ろう

講師 ふじもり ひろゆき 藤森 寛行 考古学研究者（郷土史家）



昨年の東京国立博物館特別展「縄文-1万年の美の鼓動」は大変な人気を呼びました。信濃川流域の火炎土器や八ヶ岳西南麓の縄文のビーナス、東北地方の遮光器土偶は、わたしたちを、今居る場所とは別の秘密めいた世界に連れて行って行ってくれます。

実は、縄文中期（およそ5,500～4,500年前）**ここらあたり**（関東西南部・日野市のある多摩地域も）は、「縄文のビーナス」を生んだ八ヶ岳を中心とした文化圏の一翼を担っていました。

この講座で、地元の豊かな縄文土器・土偶の紹介や中部高地（八ヶ岳山麓・信州諏訪地域）の遺物の画像を見ながら、一緒に縄文時代中期の繁栄に思いを馳せましょう。

「そういえば、縄文時代ってぜんぜん知らない…」という人や子どもたちにも、わかりやすく楽しく学びます。



縄文のビーナス頭部  
（長野県茅野市棚畑遺跡）

講師紹介 藤森寛行（ふじもり・ひろゆき）

早稲田大学文学部卒業。故郷諏訪の郷土研究会、Suwa-Animism（スワニズム）諏訪信仰と中央高地の縄文時代について研究。会誌『スワニズム』に連載。日本在来馬の繁殖育成、調教師。日野市立児童館勤務。

日時 2019年 6月15日（土）  
10時～12時

場所 社会教育協会「ゆうりか」

受講料 1,950円

申込み 電話か直接当協会まで

TEL 042-586-6221

対象 どなたでも

主催 公益財団法人 社会教育協会

〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル 3階

FAX 042-589-3626

<http://www.zaidan-shakyo.org>

